

政策調整会議次第

日時 令和7年1月6日 (木)

午後3時30分

場所 別館3階 市長公室

1 開会

- 2 議題 (1) (仮称) 朝霞市福祉等複合施設の機能および配置計画の
再検討について
(2) 朝霞市学校施設長寿命化計画（第2期）(素案)

(仮称) 朝霞市福祉等複合施設の機能および配置計画の再検討について

1 計画再検討の必要性

- ・(仮称) 朝霞市福祉等複合施設（以下、「福祉等複合施設」という。）の整備につきまして、地域拠点としての将来的な価値を最大化し、将来のまちづくりに最適化するため、その機能および配置計画を一体的かつ総合的に再検討したいと考えています。
- ・この再検討は、計画の中止や後退を意味するものではなく、近隣での大規模なインフラ整備の将来的な見通しを踏まえ、計画の最適化を図るため戦略的に判断したものです。

2 再検討の背景となる環境変化

- ・福祉等複合施設に近接する東武東上線朝霞台駅舎の改築が将来的に見込まれ、これに伴い、駅周辺エリアの都市機能が大きく変化する可能性があります。特に駅舎の改築には商業施設の併設が想定され、人の流れや利便性が大きく変わることが予想されます。
- ・令和7年10月6日に東武鉄道(株)から「東武東上線朝霞台駅再整備に伴う朝霞台駅周辺エリアにおけるまちづくりに関する協議の開始について」の文書が提出され、現在、市は東武鉄道(株)との間で、「朝霞台駅再整備に伴う朝霞台駅周辺エリアにおけるまちづくりに関する協定（※資料1-2）」の締結に向けた協議を進めております。

3 朝霞台駅周辺まちづくりの推進（東武鉄道（株）と連携協定）

- ・この協定の目的は、駅を中心としたまちづくりを推進し、駅および駅周辺の必要な機能と配置を一体的に検討することにあります。
- ・この重要な連携を活かし、駅周辺の整備、および朝霞台出張所やリサイクルプラザなど近隣の公共施設も含めて一体的に見直すことで、交通、商業、福祉、交流等の機能が連携し、市民の皆様にとって複合的で利便性の高い公共拠点を形成できる可能性が生まれます。

4 一体的・総合的再検討の目的

- ・これらの状況を踏まえ、福祉等複合施設の計画を単独で進めるのではなく、駅周辺の整備計画と歩調を合わせ、さらに近隣の既存公共施設も含めたエリアを対象として、一体的かつ総合的に再検討することが最善であると判断いたしました。
- ・これにより、溝沼浄水場跡地の利活用が駅周辺整備の核となり、地域ニーズに応える「生活・交流・福祉等の複合拠点」として、長期的な視点からその機能と配置の最適化を図ってまいります。

東武東上線朝霞台駅再整備に伴う朝霞台駅周辺エリアにおけるまちづくりに関する協定(案) ※一部抜粋

(目的)

- ・朝霞台駅再整備等については、2024 年 8 月 1 日付けにて「東武東上線朝霞台駅再整備及び駅前広場等周辺環境の整備の検討推進に関する覚書」を甲及び乙で取り交わし、検討を推進しているところである。
- ・本協定は、対象地域の個性・特色および強みを生かしながら、持続可能なまちの実現を目指していくこととし、甲及び乙が連携・協力のうえ、検討・推進していくこととする。

(取組事項等)

- ・朝霞台駅再整備に関すること
- ・朝霞台駅再整備に伴う駅前広場等の周辺環境の整備に関すること
- ・朝霞台駅再整備に伴う駅及び駅周辺の必要な機能および配置の検討に関すること
- ・駅を中心としたまちづくりに関すること
- ・駅周辺の公共空間の利活用に関すること
- ・まちづくりに係る他事業者との連携に関すること
- ・甲乙連携による取組が必要と認められること

以上

朝霞市学校施設長寿命化実施計画（第2期）（素案） 概要

■策定経緯

本市の小中学校の施設（以下「学校施設」という。）の多くは、昭和40(1965)年代後半から50(1975)年代の児童生徒が急増した時期に建設され、小中学校全15校のうち築40年以上の学校施設が5割を占め、経年による老朽化対策が課題となっている。

令和2年3月に策定した「朝霞市学校施設長寿命化基本方針」の計画期間が令和7年度末をもって満了するため、学校施設の改築・改修等の施設整備や維持管理に係る予算の平準化を実現しつつ、学校施設に求められる機能を確保を考慮した具体的な実施方針・計画として「朝霞市学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という）を策定する。

■計画概要

計画期間：令和8年度から令和17年度（10年間）

対象施設：小学校10校、中学校5校 合計15校の校舎、屋内運動場（体育館、武道場）及びプール施設

（校舎内にある自校給食施設（調理設備を除く）、放課後児童クラブ、防災倉庫は、校舎と一体の改修等が想定されるため、本計画の対象施設とする。）

■改築及び長寿命化改修の優先順位【計画書 P31、P34】

学校施設の老朽化状況や優先度の考え方を踏まえた優先順位は以下のとおり。

優先度	改築	長寿命化改修
1位	朝霞第二中学校	朝霞第三中学校
2位	朝霞第二小学校	朝霞第四中学校
3位	朝霞第一小学校	朝霞第七小学校
4位	朝霞第三小学校	朝霞第八小学校

■第2期の実施計画【計画書 P39】

改築工事	年度 学校名	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	(千円)
		2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	合計
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
長寿命化改修工事	二中			耐力度調査 改築基本計画	基本設計	実施設計	築67年経過	6,721,600	改築	既存校舎解体		8,487,660
				16,060	50,000	150,000	150,000	2,240,533	2,240,533	2,240,533	1,400,000	
	二小							耐力度調査 改築基本計画	基本設計	実施設計		366,060
大規模改修工事	一小							16,060	50,000	150,000	150,000	
											耐力度調査 改築基本計画 (1年目)	16,060
	三小	第3期に改築事業着手を検討 (R21～耐力度調査・改築基本計画)										
長寿命化改修工事	三中		劣化度調査	基本設計 実施設計	築59年経過	3,969,300	長寿命化 改修					4,026,630
		37,330	20,000	1,323,100	1,323,100	1,323,100						
	四中									劣化度調査	基本設計 実施設計	57,330
大規模改修工事	七小	第3期に長寿命化事業着手を検討 (R20～劣化度調査)										
	八小	第3期に長寿命化事業着手を検討 (R23～劣化度調査)										
	十小	大規模改修 (実施中)										312,842
大規模改修工事		312,842										
	一中				劣化度調査	基本設計 実施設計	築26年経過 大規模改修	2,831,000				2,888,330
	四小				37,330	20,000	1,415,500	1,415,500				2,419,030
事業費合計		312,842	37,330	36,060	1,373,100	1,510,430	1,493,100	3,709,423	3,726,033	3,608,713	2,766,910	18,573,942
修繕費用		154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000	1,540,000
総計		466,842	191,330	190,060	1,527,100	1,664,430	1,647,100	3,863,423	3,880,033	3,762,713	2,920,910	20,113,942

■今後のスケジュール

日 程	内 容
11月下旬	全員協議会 (11/6 政策調整会議、11/12 庁議)
11月下旬から12月下旬	市民コメント
1月26日(月)	政策調整会議
2月10日(火)	定例庁議
3月下旬(予定)	教育委員会定例会 (議決をもって策定)
3月下旬	ホームページ等で公表